

きょうは、**塩尻開拓デー**（2022年6月）です。

（開拓伝道推進委員会）

## 塩尻開拓のために、宣教区挙げてともに祈り、献げましょう。

いつも塩尻開拓のためのお祈りと、尊いさげものをありがとうございます。6/11の宣教区会議をもち、開拓伝道推進委員会は解散し、今後は1名の塩尻開拓報告担当者を立てて引き続き開拓を支援していくことになりました。現委員長による巻頭言は今月号が最後になるかと思えます。委員会は解散しても、韓国の兄弟のような熱い祈りとご支援を、引き続きよろしく願いいたします。

**宣教区開拓伝道指定献金 報告**  
2022年5月分:114,000円（予算130,000円/月）  
累計:578,700円（対予算期待値650,000円）  
差額 -71,300円

2022/6/19 開拓伝道推進委員長 原山伊作

### 【近況報告】 塩尻からこんにちは！（132） 金道均

いつも塩尻の群れを覚え、祈り支えてくださりありがとうございます。大きな変化を迎え4ヶ月ほど経つ中、苦しいことも悲しいことも、（まだ一部ではありますが）感謝に変わっていく経験をさせていただきました。この貴重な経験を吟味しながら、以前よりも多くの方々の祈りの力を実感させられ、さらなる感謝を覚えるようにもなりました。ところが、毎日がそうはいきません。なかなか力が出てこない時には、「自分がこうだからダメだ」とすぐに落ち込んでしまいます。また、昨年から「教会のことを考えてみる会」で1年間じっくり読んできた『愛されている者の生活』（ヘンリー・ナーウェン著）で受けた励ましを忘れそうになります。著者はしきりに、私たちは神さまから愛されている者であるが、愛されている者に「なる」必要があると語り、「愛されている者となるとは、私たちが愛されているという真理を、私たちの考え、言葉、行動のすべてにおいて肉づけさせることです」と語るのです。この学びを通して、私たちもまた「状況はこうだけど、私たちは愛されている」と思い起こせるよう励んでいます。



そして、この「神に愛されていること」を肉づけできるようにしてくれたのが、まさに宣教区の皆さんの祈りと支援でした。また、写真でしか会ったことのないこの群れのために、オンラインで毎月つどい、涙ながら祈ってくれた韓国の兄弟の温かさでした。目に見える状況が厳しくても、落ち込んだままではなかったのは、目に見える愛が、こうして様々なかたちで示されていたからです。



開拓伝道推進委員会もその一つでした。12年間、主に塩尻開拓に携わりながら、祈り支え、共に悩み、大いに励ましていただきました。その委員会が、先日の宣教区会議をもって解散することとなり、正直、まださびしさを覚えることもあります。ですが、この新たな一步を踏み出す決断によって、塩尻の群れも背中を押していただき、宣教区としても、次のステップを踏み出していることに、愛の豊かさをまた教えられます。信頼してくれている愛、成長を願いながらエールを送ってくれる愛、心配しつつも見守ってくれる愛。やはり愛は、その源であられる主を通して、そして主にある交わりを通して、体験し、深められ、肉づけされていくことを思わされます。その愛の中で、全てのことが感謝へと変えられる日を期待し歩んでいきたいです。

わたしを信じなさい。この山でもなく、エルサレムでもないところで、  
あなたがたが父を礼拝する時が来ます。（ヨハネ 4：21）

### 【祈りの課題】

- ① 教会につらなる一人ひとりの信仰・健康の守りのために
- ② 新しい場所での礼拝の祝福のために
- ③ 新たな宣教の取り組みへの知恵が与えられるために
- ④ 韓国語講座の祝福、求道中の方々の導きのために
- ⑤ 宣教区諸教会の福音宣教の祝福のために

### 【最近のトピックス・今後の予定】

- ① ペンテコステ礼拝(6/5)
- ② 宣教区会議(6/11)
- ③ 教会のことを考えてみる会(6/12)
- ④ 聖餐礼拝(6/19)
- ⑤ 信徒の会(6/26)